

平成26年度 第4回鎌ヶ谷市障がい者地域自立支援協議会
個別支援部会会議録

日 時 平成27年1月27日（火） 午後2時から午後3時まで

場 所 鎌ヶ谷市総合福祉保健センター4階研修室

出 席 高橋貴子部会長、三浦弘部会員、長谷川登志子部会員、山崎幸子部会員、渡辺浩隆部会員、鈴木君江部会員、吉村タイ部会員、中川恵美部会員（障がい福祉課主査）、山田ゆり子部会員（健康増進課副主幹）
秦八月氏（光宗いづみ部会員代理）

欠 席 鮫島亘副部会長、豊田朋二部会員、小池満弓部会員、田中紘子部会員、
光宗いづみ部会員

事務局

もくせい園 三浦幸嗣、松尾陽子

障がい福祉課 山田英一課長、藤島晶子係長、高橋亜也子主事補

社会福祉課 木内亨主査、五十嵐暁彦主事

公開・非公開の区分 一部非公開（個人情報保護のため）

傍聴者 なし

添付資料

- ・式次第
- ・個別支援部会名簿

(個人情報保護のため、ここから非公開)

1 事例検討

今年度検討した個別ケースの事後について検討した。

(ここまで非公開)

2 今年度の活動を振り返って

各部会員からの意見、感想

- ・秋元病院で行われた研修で、近所にあのような収容能力のある施設、やる気のある先生のいる病院があることを心強く思った。
- ・松戸に無料宿泊施設があることや船橋市にも障がい者の入所施設があることを知り、秋元病院で行われた研修会のように、障がい者施設等を見学しながら、障がい福祉の知識として知っておきたいと思った。
- ・生活保護費が老齢年金より高いことはいかがなものかと思った。
- ・事例では精神障がいの方が多かったので、何も知らないところから始まっているいろいろな勉強をさせてもらった。
- ・部会が始まった最初の頃は、事例検討の話し合いの際、上手く意見が出ず、結論的なものがでなかった。今年一年は話をする機会が多く、勉強になった。事例が、現在はこうなっているという結果を出せることは、個別支援部会の意義があったと感じる。
- ・専門的な知識を持ったスーパーバイザーのような方がいるとよいと思った。
- ・在学中に、どういうことをやっていけば卒業後に役立つのか考える機会になった。研修は勉強になった。
- ・話し合いを重ねたうえ、知恵を出し合い、協力し、助け合っていくことが今後の知識になる。話し合いを進めていく場がほしいと思った。秋元病院で行われた研修は参考になり、知識が深まったと思う。
- ・研修、事例検討は、日々の仕事に生かすことができた。
- ・事例検討は、結論が出なくても、色々な立場での意見が聞けたことが意義のあることであった。事例の経過や変化があった場合、次の部会の会議で知ることができるとよかった。研修や施設見学は、参考になった。
- ・なかなか気付けない事がたくさんあり、それを含めて勉強になった。そろそろ部会員の交代をしてもよいではないかと思う。

3 来年度について

事務局から

今年度でこの部会員の任期が終了となる。

個別支援部会は、他市では相談支援部会という名称で、相談支援事業所が集まり、より専門的な観点から事例検討をしている。

個別支援部会のそもそものあり方を大きく見直してはどうか、との話もあった。また、本日の「今年度の活動を振り返って」でも、部会員からこの個別支援部会に対する意見もあったので、それを参考にしながら、来年度のメンバー構成、方向性を決めていく。

以上

以上、会議の経過を記録し、相違ないことを証するため次に署名する。

平成27年2月16日

氏名 高橋 貴子 _____

氏名 中川 恵美 _____